

會員二千四、五百を数へた當時私共は承爲に來て身分にして貰つたのである、然るに反對派の中傷に依り賣却したる事を愚ふと誤が出る、近頃になつて急に放給屋も農村の貧乏を叫ぶよことになつたが、吾々は水い潤の資本家、地主の搾取でじわじわと貧乏になつて來たのだ、吾々はこの窮乏を打開し吾々の農村の爲に救済を期して闘はれん事を期す。

九州同盟會 城戸 雄雄

大正十二、十三年頃福岡に於て吾々の黨に集る者千三百五十の多數であつた、吾々は經濟的、政治的闘争には固執して對抗しなければならぬ、本日結成の聯合會をして諸君は之を永久的な組織となし、親子夫婦手を携へて生活の向上に邁進せよ。

一四、大會宣言發表 別紙の類

一五、建議案委員會報告

左記協議事項四件を決定す

一六、協議事項審議

1 聯合會規約審議の件

審査後人説明

原案可決

(別紙の類)

2 土地運送絶對反對の件

寺山崎吉説明

小作人に土地がなれば一日も生活は出来ぬ耕作權を主張し土地運送絶對反對である。

3 小作米減額要求絶對の件

藤野重三郎説明

小作料の永久減と凶作に對する凶作減を要求する 可決

4 農民生活窮乏打開闘争の件

梅津治之吉説明

米價暴落物價の下落に付税金の減額を要求する 可決

一七、役員發表

會長 林 重 吉